

会員のひろば

水道検針業務に携わって

山田 松枝伸治

寒い日が続きますが皆様就業に励んでおられることと思います。私は、精華町に転居して3年、シルバーに入会して約2年になります。

今は5～6種の業務に携わり、特に数人での作業時は町内の情報を始め色々なお話を伺う貴重な場として楽しい時間を過ごさせていただいています。

一人で行う「水道検針」はそうした楽しい時間がない上、後半の検針員への引継ぎに余り余裕がないため「2日間で完了」を目標としているので1日2万歩以上の歩行と300回以上腰屈めが必要と結構大変な業務です。

若い頃大分県の国東半島を終日歩き回ったり、今でも1～2時間の歩行は平気なことから歩行には自信がありましたが、検針が終わると体重が3kg強減ったこともあり、この自信がぐらついた時もあります。

しかし、検針も回を重ねると元気が出る出来事が増やせます。それは検針先の皆様との出会いやコミュニケーションです。異常値の原因確認や漏水の恐れ連絡などで感謝していただいたり、日常生活を話したり、また暑い夏には冷たいジュースを差し入れてもらったり。

ペットには吼えられたり頭をなでると要求されたり・・・時にはコミュニケーションが長引き過ぎて検針機があきれたのか、電源が自動でoffしたことも。これからもこうした出会いを大切に新しい楽しみを見つけながら検針業務を頑張りたいと思います。



【ふるさと案内人の会】で楽しんでいます

光台6丁目 佐久間隆司

シルバーに入会してはや4年がたち、「KCNのチラシ配布」・「けいはんな公園の交通整理」・「町道の点検整備」・「研究施設でもモニター」など、いろいろな仕事を紹介していただきました。

現在は、「府民だよりの配布」と「ふるさと案内人の会」の活動で、シルバーにお世話になっております。「ふるさと案内人の会」は、今年4月2日である6年がたち、「ふるさと発見の旅」として春秋2回町内を案内し、昨年の秋の「山城國菱田村絵図でたどる 晩秋の 藪の渡しと三つの春日神社」で、計12回実施したことになり、これではぼ町内を一周したことになります。

精華町には、近隣の木津川市の浄瑠璃寺・岩船寺、京田辺市の一休寺、宇治市の平等院などと比べて、観光資源といわれる有名な寺社仏閣・自然風景が皆目ないと言われておりますが、実際町内を歩き回ると、その地域ごとにいろいろ素晴らしいものがありました。その一つ一つとの出会いに、年甲斐もなく胸がときめきました。このことが、楽しみでもあり、生きがいに感じます。

古代には柘榴地域は大和の国であったとか、柘榴の日出神社の雨乞い石、精華町最高峰である東畑の嶽山「259.5m」、北稻の竹林の道、祝園八景、南山城三十三所観音霊場、豊臣秀吉の姉である「日秀尼」と北稻八間、河井寛次郎と釈迦ノ池の風景、西光寺の霊巖上人真筆の一枚起請文、明治時代には片町線に網島⇄名古屋の直通列車が走っていたことなど、数え上げたらきりがなほど沢山ありました。

現在「精華町ふるさと案内人の会」は、61歳～75歳の男女13名で活動し、旧集落地域に5名、光台・精華台・桜が丘地区に8名の構成です。地域の歴史、行事、自然風景、土木遺産などに興味をお持ちの会員の方は、毎月第1・3水曜日13:30～15:30シルバーで集まっていますので是非のぞきにきてください。(1月は9日に変更)

